

北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月30日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第3380回例会・2022年8月24日

本日のプログラム

新入会員卓話「貯蓄から投資へ」

北洋証券株北見支店 支店長 丹野 崇史 会員

2022～2023年度国際ロータリーテーマ



R. I. 会長 ジェニファー・ジョーンズ

第3379回例会（8月17日）の記録

会長挨拶 田尾会長

皆様お盆明けの何かとお忙しい中今回の例会にお集まり頂きましてありがとうございました。本来でしたら皆様と夏らしい夜の中でビールを美味しく頂きたいと思っていたのですが、今このコロナの感染状況なものですから昼例会でのお弁当お持ち帰りとさせて頂きました。本日色々変更のあった中で会場のお手伝いをして頂きました親睦活動委員会の皆様、本当にありがとうございました。

さて、お盆の前半は天気も良かったのですが、昨日は大変な雨が降りまして北海道のあちこちで被害が出ております。早く色んなものの復旧をして頂きたいと思えます。

また、15日に皆様の勤務先にFAXをさせて頂きましたが、坂井会員のご尊父様が亡くなられて、17日(木)通夜、18日(木)告別式となっております。クラブからは私と帰山幹事と田巻エレクトで手伝いに行つて参ります。

それと、先程ローターアクトクラブの会長幹事様とお話をさせて頂きました。ローターアクトクラブ50周年という事で今色々準備を考えていて、とてもやる気を感じました。一つお願いしたいのが、新入会員をローターアクトクラブの方に勧めて頂ければありがたいと仰つておりましたので私も心掛けて参ります。

それでは短時間例会となりますがどうぞ宜しくお願い致します。

幹事報告 帰山幹事

1. 旭川で開催される2500地区地区大会の参加申込の締切が18日(木)となっておりますので返信の方をお願い致します。
2. 坂井副会長のご尊父様が8月14日(日)にお亡くなりになりました。17日(木)17時より通夜、18日(木)10時より告別式となっておりますので、ご参列頂ける方は宜しくお願い致します。
3. 本日の例会にあたりまして駐車場のご配慮を頂きました事をこの場をお借りして御礼申し上げます。

8月17日(木)にホテルベルクラシック北見において、北見ロータリークラブ創立85周年と北見ローターアクトクラブ創立50周年の打ち合わせを行いました。



RI会長メッセージ

「ストーリーを発信しよう」

ジェニファー・ジョーンズ
2022-23年度 国際ロータリー (RI) 会長

ロータリーに入会して以来、毎月、ロータリーの雑誌が届くのを楽しみにしています。特に、冒頭の会長メッセージ。電子版もいいのですが、それでもやはりじっくり椅子に座って、つやつやのページをめくるのは楽しいものです。私たちみんなが大切に思っている、この素晴らしい団体の姿を映し出す写真や、忘れがたいストーリーの宝庫ですから。私は長年にわたり、奉仕プロジェクトや皆さんが変化をもたらした人々の暮らしについて、この雑誌から多くを学ぶことができました。

コミュニケーションの専門家としては、私たちのストーリーがマスコミで日常的に取り上げられ、ロータリーの雑誌が病院や喫茶店などに置かれて人々に読まれる日がいつか来ることを楽しみにしてきました。ロータリーの会員が自分たちの活動について詳しくなるのは素晴らしいことですが、より多くの人が私たちのストーリーを知ってくれたら、もっとすてきだと思いませんか。

このことを念頭において、私は、今年度、世界中でロータリーを推進するための計画を練りました。今後12ヵ月間で、世界に示していけるようなロータリーの奉仕プロジェクトに光を当てていきます。それも、戦略的に。夫のニックと私は、各重点分野で最も影響が大きく、持続可能で大規模なロータリープロジェクトに焦点を当て、それを「イマジン・インパクト・ツアー」と呼びます。

一流のジャーナリスト、思想的指導者、インフルエンサーを招き、彼らのチャンネルを通して奉仕したいと思いつつも、ロータリーに参加すれば奉仕ができることを知らない人々に呼びかけることで認識を高めてもらいます。

考えるべき重要な問題は他にもあります。例えば、私たちの生活、活動で排出される温室効果ガスについてです。私は、環境問題においてロータリーがリーダーシップを発揮する立場に就き始めたことを重く受け止めています。ロータリーの会員たちは、コロナ禍でロータリーが未来を切り開くための鍵となるための模範を示してくれました。

例えば、デジタル技術を活用してロータリーのストーリーを発信していきましょう。関心がある人に届くように、ツイートや投稿、ライブ配信を行うのです。環境への配慮が必要であるということは、イベントなどを毎回対面式で行うのではなく、この2年間私たちがしてきたように有意義な方法でつながり続けることでもあるでしょう。

もちろん、ロータリアンは社交的ですから、交流の機会は必要です。ただ、今までより慎重に計画して、少しでも違うかたちで集まる方法を考えないといけません。例えば、プロジェクトのために現地を訪問する際には、続けて、その近隣で行われているプロジェクトも訪問する、といったようにです。

皆さんはどういうストーリーがありますか？発信するのを手伝ってくれる人はいますか？皆さんも「イマジン・インパクト」に取り組みませんか。あなたのストーリーは、ソーシャルメディアやビデオ会議システムでも簡単に発信できるかもしれません。クラブや地区で注目すべきプロジェクトを紹介する方法を、ぜひお考えください。

ロータリーの奉仕活動と理念がもたらす影響は、私たちみんなが感じています。今こそ、この感覚を世界の人々と共有する時です。

〈ロータリーの友 7月号より抜粋して掲載しております〉

【次回9月2日】

「ガバナー公式訪問例会」

編集後記 新型コロナウイルス感染者数が増加しています。引き続き感染予防対策に努めましょう。(T.T)

2022～2023年度 北見R.C.活動方針

つなぎ目になろう～ボーダーを超えて～

ロータリーの雑誌月間とは

毎年4月は雑誌月間に指定され、クラブはその月間中に雑誌に関するプログラムを実施する事になっています。日本のロータリーでは現在「ロータリーの友」がR.Iで認められ、唯一の公式地域雑誌となっております。

